

第30回東北高等学校新人水泳競技大会

代表者会議資料
(2次要項)

1. 開会式・閉会式・種目別表彰

(1) 開会式・優勝杯返還

- ① 10月28日(金) 9時15分
 - ② 集合場所：プールサイド
 - ③ 返還団 <前年度優勝校>
 - ・高校男子： 仙台二華高校 … 優勝杯
 - ・高校女子： 東北高校 … 優勝杯
- ★ 返還時、レプリカを授与する。

(2) 閉会式・優勝杯授与

- ① 10月29日(土) 競技終了後
- ② 集合場所：プールサイド
- ③ 学校対抗男子・女子に優勝杯を授与する。
 - ・男子優勝校に優勝杯。
 - ・女子優勝校に優勝杯。

(3) 種目別表彰

- ① 3位までに入賞した選手(チーム)を表彰し、賞状を授与する。
3位までに入賞した選手(チーム)は、入賞者控場所で待機すること。
4～6位の選手(チーム)まで賞状を授与する。
男女4×100mフリーリレー優勝チームに優勝杯(持回り)を授与する。(追加)
男女4×100mメドレーリレー優勝チームに優勝杯(持回り)を授与する。(追加)
- ② 種目ごとに、決勝レース終了後、男女一緒に行う。
- ③ 服装はチームユニフォームとする。
- ④ 賞状は、表彰式終了から30分後に、2Fインフォメーションで受け取ること。

2. 大会運営・施設使用上の注意

(1) 大会運営について

- ① 今大会は無観客とし、会場に入ることができるのはADカードを所持しているものに限る。会場内はすべてADコントロールを行う。また、感染予防対策として、会場への入場人数の制限を行うこともある。
- ② 代表者会議は実施しない。代替として各県での打ち合わせ等を行う。
場所については各県の控え場所の観覧席とし、時間については各県専門委員長の指示による。
- ③ 開閉会式は実施する。

(2) プール及びアリーナの開閉館時間、プールの練習時間について

- ① 選手、監督(申込責任者)、コーチ、マネージャーの入場は2階入口からとする。
大会期間中の入場順は以下のとおりとする。(各県委員長の指示に従うこと)
28日(金) 青森→岩手→宮城→秋田→山形→福島
29日(土) 福島→山形→秋田→宮城→岩手→青森
- ② 昼休みのメインプール開放時のアリーナ内の入場は、決勝進出者、当該監督(申込責任者)およびコーチ、マネージャーのみとする。
- ③ 更衣室は更衣のみの利用としロッカーは使用禁止とする。荷物は更衣室に置くことを禁止し、各県割り当ての荷物置場を利用する。

レーン割当 (全時間帯)	メインプール	25m プール	ダイビング
男子	1～5レーン	1～4レーン	壁側
女子	6～10レーン	5～8レーン	メインプール側

27日	岩手県・秋田県	青森県・山形県	宮城県・福島県
開場	10:30	12:15	14:00
更衣室利用	10:30～11:15	12:15～13:00	14:00～14:45
公式練習	11:30～13:00	13:15～14:45	15:00～16:30
公式スタート	12:30～12:50	14:15～14:35	16:00～16:20
更衣室利用	13:00～13:30	14:45～15:15	16:30～17:00

28日～29日	メインプール	25m プール	ダイビング
開場	7:00		
公式練習	7:30～9:00	7:30～競技終了	7:30～競技終了
公式スタート	8:30～8:50		

28日	メインプール	25m プール	ダイビング
競技終了後	17:00まで	17:00まで	17:00まで

※27日については開場後、各校の控え場所を設置し、前グループが練習中に着替える。

着替えが終わったらプールサイドで待機。

更衣室等が混みあわないように、スムーズに入替を行う。

※公式スタート練習は、全レーン一斉に行う。男女によるレーンの区別はしない。50m泳ぎ切るものとする。

※25mプールにはスタート台は設置しない。

(3) 施設利用上の注意

① プールへの入館と利用上の注意

選手、監督（申込責任者）、コーチ、マネージャーの入場は2階入口からとする。

上記2(2)①に従うこと。

・入館時に必ず検温を受け、手指消毒をすること。

② 選手控え場所は県ごとに2日間固定とし、事前に各県で割り当てること。（会場図参照）

・指定場所以外の場所取りは禁止。

・スタンドでのシート類・メガホン等での場所取りは禁止。

③ 更衣室は更衣のみの利用とし、ロッカーは使用禁止とする。荷物については各県割り当ての荷物置場を利用する（貴重品の管理には十分気をつけること）。なお、招集所へ行く際の私物（貴重品等）は配布されたビニール袋を利用すること。

④ プールアリーナ内は土足厳禁。下足については各自で管理すること。

⑤ 各チームのゴミは、各自で持ち帰ること。

⑥ 敷地内は全て禁煙。

⑦ レース以外は必ずマスクを着用し、ソーシャルディスタンスを心がけ、感染症対策を徹底すること。

3. 駐車場について

① 向浜スポーツゾーン内の駐車場を利用すること。

4. 宿泊・弁当について

- ① 1階入口脇に、名鉄観光の窓口を設置する。
弁当の引き換え・領収書の発行・要望等
・窓口の設置時間 … 9：00～17：00
・弁当引き換え時間 … 11：00～13：00
・弁当箱返却時間 … 14：00までに返却。
- ② 宿舎での感染予防対策、宿泊マナーを徹底すること。

5. その他

救急指定病院

- | | | |
|------------|---------------|------------------|
| ○ 市立秋田総合病院 | 秋田市川元松丘町4-30 | TEL 018-823-4171 |
| ○ 中通総合病院 | 秋田市南通みその町3-15 | TEL 018-831-1122 |

6. 競技上の注意

(1) 競技について

- ① 本大会は、2022年度（公財）日本水泳連盟競泳競技規則により実施する。
- ② 本大会の水深は、2.0mで実施する。
- ③ 予選・決勝はタイムテーブル通りに行う。
- ④ 招集は競技開始10分前とする。
- ⑤ 決勝進出者は、予選タイムの上位10名とする。なお、予選同タイムにより決勝進出者が11名以上になった場合は、スイムオフを行わず抽選で決勝進出者を決定する。
- ⑥ スタート前にプールの水を着水することは禁止する。準備したバケツの水を利用すること。
- ⑦ 背泳ぎのスタート前の入水は、必ず足から入ること。
- ⑧ 折返し及びゴールタッチは、タッチ板の有効面にタッチすること。
- ⑨ 個人種目については横退水とする。

(2) 招集（招集所）について

- ① 招集は、出場する本人が競技開始10分前から招集所にて行う。
- ② 補欠2名（チーム）も必ず決勝の招集を受けることとする。
- ③ リレー種目のオーダー用紙は、選手登録番号等の必要事項を記入し、予選・決勝とも1時間前までに、招集所に提出すること。その際、リレーオーダー用紙の提出控を受け取ること。
- ④ プログラムに訂正箇所がある場合、所定の用紙に記入し提出すること。
- ⑤ 予選を棄権する場合、所定の用紙に記入し、当該競技開始1時間前までに招集所に届け出ること。決勝を棄権する場合、所定の用紙に記入し、その予選競技終了後1時間以内に招集所に届け出ること。決勝については無断棄権した場合 並びに正当な理由がない場合は、大会本部に棄権料として個人種目3,000円・リレー種目5,000円を支払う。
- ⑥ Fina マーク剥がれについては、申請用紙に記入し招集所に提出すること。
- ⑦ マスクについては常に着用し、招集後は自レーンに入るまで着用し、自レーンに入ったときにポケット等にしまうこと。

(3) 通告について

- ① 選手紹介、途中時間及び正式時間、失格者の通告をする。ただし、大会新記録については、割愛する。
- ② 予選では、決勝進出者は通告せず、各種目の予選終了後、ランキングを電光掲示板で表示する。
- ③ 決勝では入賞者は通告せず、各種目の競技終了後、電光掲示板で表示する。

(4) その他

- ① 一時的に競技力の向上を図る目的で、薬物や嗜好品を使用することを禁止する。
- ② テーピング（カットバン等も含む）をして出場することを禁止する。ただし、審判長により許可される場合もある。
- ③ ピアス、マニキュア、ペディキュア等をして出場することを禁止する。
- ④ 記録速報は（一社）秋田県水泳連盟のホームページで公開する。
- ⑤ 災害発生時の避難経路について、プログラムにて確認すること。
- ⑥ 今大会は、ライブ配信を行う。（一社）秋田県水泳連盟のホームページから視聴する事ができる。
- ⑦ 競技開始後、監督（申込責任者）、コーチ、マネージャーはアリーナ内に入ることはできない。ただし、招集所へのリレーオーダー用紙、棄権用紙の提出は認める。

7. 感染症対策について

- ① 大会1週間前から健康観察をおこない、健康観察報告書に記入し受付の際に提出する。
- ② 大会の参加者（選手、監督（申込責任者）、大会役員、競技役員等）は大会参加同意書を提出する。
- ③ 大会受付の際に、健康観察報告書、大会参加同意書を学校ごとに提出する。
- ④ 大会の参加者（選手、監督（申込責任者）、大会役員、競技役員等）は、朝必ず各自で検温をおこなう。
- ⑤ 各県に割り当てられたコーチについては、各県の専門委員長が健康観察をおこない報告書を提出すること。
- ⑥ 今大会は会場のスペース等の関係上、マッサージ台の設置は認めない。
- ⑦ 体温が37.5℃以上の場合には会場に入ることはできない。
- ⑧ 感染予防マニュアル（（一社）秋田県水泳連盟ホームページ）に従い、各自でも感染予防対策を十分講じること。

8. 入館前後の対応

(1) 来県・入館等の判断基準

秋田県高等学校体育連盟のホームページの「秋田県高等学校体育連盟主催大会等における大会参加者に求める新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策について」について従うこと。

(2) 入館等の判断基準

- ① 非接触型体温計（もしくはサーモカメラ）で表面体温が37.5℃以上の場合
→ 隔離エリア5分間の休憩の後に接触型体温計で腋窩体温を計測する。
 - ・ 腋窩体温が37.5℃未満であれば入場許可
 - ・ 腋窩体温が37.5℃以上であれば再度5分待つて計測する。
- ② 腋窩体温が37.5℃以上で入館が不可の場合
 - ・ 可能な限り他者との接触を避けて宿泊場所もしくは自宅で経過観察を行う。

(3) 大会終了後の経過観察について

大会終了後2週間は検温を継続し、その間に「新型コロナウイルス感染症を発症した」場合は、濃厚接触者の有無等について各県高体連水泳専門部委員長へ報告し、各県委員長は東北高体連水泳専門部委員長へ報告すること。

(4) その他について

- ① 新型コロナウイルス感染症等対策に関連する PCR 検査代、治療費、宿舍キャンセル料、交通費などの経費については、東北高体連水泳専門部および（一社）秋田県水泳連盟は負担しないものとする。
- ② 当該の学校は診断結果等については、東北高体連水泳専門部および（一社）秋田県水泳連盟に対し責任を持って報告すること。